

令和3年第2回定例会一般質問通告事項

	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
6 月	<p>1 ワクチン接種とPCR検査拡充で、コロナ封じ込めを について</p> <p>(1) 明らかに様相を変えて来た現在の尾道市の感染状況についてどう見ているか</p> <p>(2) コロナウイルス感染症の検査について</p> <p>ア 介護施設でクラスターが発生しないよう、居住型の高齢者施設の職員だけではなく、デイサービスや訪問介護などの事業所の職員にも抗原検査などを実施するようにするべきではないか</p> <p>イ 検査キットを、本庁前広場で配るとか、市民病院裏にテントを張って検査をする等の施策を検討するべきではないか</p> <p>(3) 戦略的なワクチン接種について</p> <p>ア ワクチン接種の優先接種に、介護事業所で働く職員を加え、安心して利用者と接することができる条件をつくるべきではないか</p> <p>イ クラスターを絶対発生させないという観点からは、小中学校、保育園などの職員への優先接種も検討されるべきです。いかがお考えですか</p> <p>(4) ワクチン接種を促進するために、バスなどの公共交通機関や自家用車が利用できない人のために尾道市が考えている制度は何か</p>	
18 日	<p>2 売り上げ減少に苦しむ市内中小零細企業、商店に救いの手を について</p> <p>休業を余儀なくされても「協力支援金」受給の対象にならない事業者もあり、三原市や府中市ではこのような事業者に市独自の支援制度をつくった。尾道市でも独自施策を実施すべきではないか</p>	
	<p>3 土堂小の未来を示す責任があるのではないかと について</p> <p>保護者・児童の多くは、現在地への復帰を望む声が多数であり、今後、この多数の意見を基に、土堂小の未来図を提案する責任が市教委にはある。佐藤教育長の考えはどうか</p>	

6 月 18 日	4 中学校給食の改善計画は現在どこまで進んだか、今年度どこまで進むか、について (1) 現在改善計画はどこまで進んだか (2) 今年度どこまで進むか
-------------------	--